

## 新潟市民病院 公開・オプトアウト書式

テンプレート

申請番号 22-046	
研究課題名	内視鏡下副鼻腔手術におけるPlus moist HS-W®による鼻副鼻腔湿潤療法の有効性に対する研究
情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	電子カルテに保存されている病歴や画像検査データなどを利用させていただきます。 使用するデータは個人が特定されないように使用します。研究の成果は学会や専門誌などの発表に使用することがありますが、個人情報公表されることはございません。
利用または提供する情報の項目	病歴(生年月日、年齢、性別、既往症、治療内容、予後)、内視鏡画像
研究の概要・目的・意義	慢性副鼻腔炎などに対して行なわれる内視鏡下副鼻腔手術では、手術後の出血を軽減し、傷の治りを早くする目的で、鼻の中に綿状の資材(パッキング資材)を入れています。 パッキング資材には様々な種類があり、資材によって除去する際の痛みの程度や時間が変わってきます。 本研究では新規の資材であるプラスモイスト HS-W の有用性を検証し、今後の内視鏡下副鼻腔手術におけるパッキング資材の選択に役立てることを目的として行います。 この研究により、今後同じ手術を施行される患者さんにより良いパッキング資材の選択が可能となることが期待されます。
研究期間	倫理審査委員会承認日から 2023 年 6 月 30 日まで
対象者及び対象期間	2021 年 4 月 1 日から 2022 年 5 月 31 日の間に内視鏡下副鼻腔手術を行った 20 歳以上の患者さん
利用の範囲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 佐々木崇暢、若杉 亮</li> <li>・新潟市民病院 耳鼻いんこう科 松山 洋</li> <li>・長岡赤十字病院 耳鼻咽喉科 高橋奈央</li> <li>・立川総合病院 耳鼻咽喉科 新堀香織</li> </ul>
試料・情報の管理について責任を有する者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 佐々木崇暢</li> <li>・新潟市民病院 耳鼻いんこう科 部長 松山 洋</li> </ul>
問い合わせ先	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 佐々木崇暢 TEL:025-227-2306</li> <li>・新潟市民病院 耳鼻いんこう科 部長 松山 洋 TEL:025-281-5151(代表)</li> </ul>
共同臨床研究機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科</li> <li>・長岡赤十字病院 耳鼻咽喉科</li> <li>・立川総合病院 耳鼻咽喉科</li> </ul>
備考	